

史跡 所塚

この塚は推古天皇（在位五九二～六二八）の御代^{みよ}、所翁^{おう}の形代^{かたしろ}を納めたところといわれている。

所翁は佐伯鞍職^{くらもと}でもと大宮人であつた、厳島明神御鎮座^{みぎり}の砌^{みぎり}より神職を務めており、子孫は、代々当地より厳島へ通つて社務を勤めていたが、慶長年間に所左エ門の長男久太郎神職をもつて厳島に居住した。その後家本はやはり厳島づきで当社神主並に氏神守護を務めていた。

この塚は推古桜の木（推古天皇の御代に植えられた）のそばにあつたことから別名桜塚とも言われている。

大竹市教育委員会